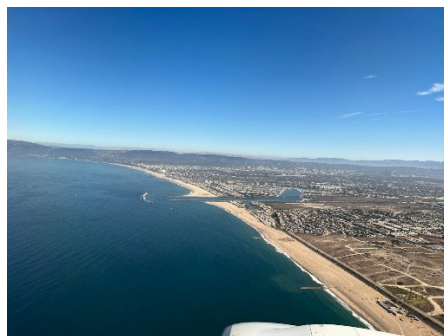


① 出国、アメリカへ！！

8月11日、友達と家族に見送られて出国しました。先輩と一緒に香港、ロサンゼルスを経由して合計35時間のフライトの結果アーカンソー州につきました。長時間の移動で疲れましたが、先輩と一緒にだったので心強かったです。

アメリカについてもあまり実感はなく平常心のまま一週間を過ごしました。授業が始まる前の一週間はA-weekというイベントがあり、交流や大学を知るチャンスがたくさんありました。僕は8月12日にコロナになってしまったので後半のイベントは参加できませんでしたが、前半で友達を作ることができ、大学のたまかなことなどを知ることができました。授業開始日には隔離が外れたのでかかるタイミング的にはまだ幸運でした。コロナになっても差別されるどころか隔離中に寮のみんなが食べ物や温かいお茶、菓（めっちゃでかかった）をくれたりメッセージをくれて友達の温かさが身に沁みました。



(1) 気候

温暖湿潤気候。暑くても32°Cくらいで、アメリカにしては湿度が高いほうですが日本より乾燥しておりのだや肌が乾燥します。半そで半ズボンの人が多いですが室内はすごく寒いので常に上着をもって行動しています。雨はそこまで多くはないですが降るときは急に激しく降ります。

(2) 人

大学周辺は約9割が白人で、それ以外に黒人、ヒスパニック、アジア、ヨーロッパ、

アフリカからの留学生がいる感じです。Southern Hospitality という言葉があり、アメリカ南部の思いやり文化のおかげかアーカンソーで会う人々はほとんど全員がとても優しく親切です。日本人でもほかの人達と同じように普通に接してくれるところがとても過ごしやすく感じます。また、留学生向けに基督教のボランティアの方が食事、ふとんやライト、ポットなどを無料で貸してくれたので生活基盤が整い助かりました。困った時に助けてくれる人が周りに何人もいるので心強いです。

(3) 食

ファストフードが多いです。油とジュースがたくさんで野菜が少なくなりがちです。食堂では野菜と果物をとるようにしています。アメリカでは食事をみんなで会話をしながら楽しむことが多いように感じました。僕はおしゃべりが大好きなのですごく楽しいです。みんなで食事に行くときはミールプランを使ってファストフードを購入して食べる人が多いです。一人でご飯を食べないという目標を立てているので、食堂に一人で行った場合でも誰かを見つけて一緒に食べるようにしています。みんな何かしら凄いことがあるので話を聞くことが楽しいです。

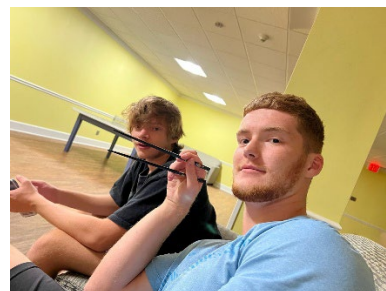


(4) 寮

Holcombe Hall という食堂やキャンパスのすぐ近くの寮に暮らしています。ルームメイトと二人で一つの部屋です。ルームメイトはアメリカ人でムキムキですが、優しいです。お互い初めてのルームシェアですが寝る時間など少し気を遣いあいながら仲良く過ごしています。二人ともスポーツが好きなので一緒にフリスビーや水泳、筋トレ、ストレッチなどをしたりします。性格や趣味、好きな映画のジャンルや考え方が似ているので過ごしやすいです。音楽の趣味だけは違います。

寮全体ではトイレ、シャワー、洗濯機、キッチンが共用でトイレ、シャワーが汚いですが僕は全然平気です。逆に自分で掃除しなくていいから楽でいいです。また、地下にビリヤードや卓球、ソファがある部屋があって男女みんながたむろしています。僕もそこによくたむろしています。大体誰かがご飯を作っていて、アメリカの家庭料理が体験できたりします。ほかの日本人は日本食を作ってあげていました。遊びたい人は地下で遊ぶため地上の部屋は静かです。(部屋もほかの寮より大きい

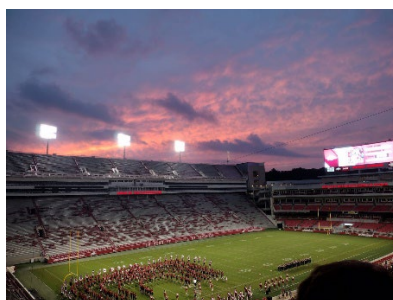
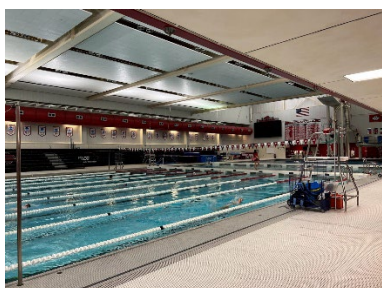
ですが、古いのでゴキブリが出るのとちょっとした煙で火災報知機が鳴るのでたまに避難しなくてはいけません。)



(5) 大学

規模がとても大きく島根大学の100倍くらい大きいです。大学が一つの町のようになっていて、25000人が入るフットボールスタジアムや陸上、バスケ、サッカーなどスポーツの施設も充実しています。ジムやプール、ボルダリングやカヤックなどほとんど何でも体験できるのでよく運動をします。また、アーカンソー州はハイキングとサイクリングのトレールや川が多いのでネイチャーアクティビティも盛んです。大学は新旧の校舎と自然調和するととてもきれいなキャンパスです。

授業は16単位とっていて、広いキャンパスの移動が大変ですが、どれも自分の好きな科目なので英語にはそこまで困りませんし、日本のことなど、分かることは積極的に共有しています。アメリカの大陸性のことなど日本とは違うことが学べて興味深いです。ただ、宿題がとても多く大変です。最初の一週間でどれを取るか決めるのでその期間にいろいろ考えて履修を組みました。



(6) 会話

ルームメイトの英語が凄く聞き取りづらかったおかげで一週間くらいでほとんど誰の英語でも聞き取れるようになりました。授業でも殆ど聞き取れるのですごく自信が付きました。わからないことは人や地名、専門的なことくらいなので4人くら

いの会話でもわからないことがあれば聞くと、みんな面白がって答えてくれます。話すほうはまだまだへたくそですが、徐々に日本語を考えずに話せるようになってきました。ただ早く話すとわかってもらえないことがあるのでゆっくり話すように心がけています。特に L と R の発音が難しいです。毎日の会話と授業を楽しめば英語力はつくと思うので、特に練習のようなことはしていません。友達とは普段はくだらないことばかり話していますが、宗教や戦争、道徳観など踏み込んだ会話をすることもあります。僕は日本にいるときから日本についてよく考えていましたが異なる価値観や経験を持つ人と話すことで気がつくことが多くありました。また、島根大学以外の2つのエージェントから20人くらい日本人が来ていますが、彼らとも会ったら話したりしています。同じ日本人だからこそ共有できる悩みなどを聞いたりしますが僕にとっても彼らの存在はありがたいなと思います。

(7) 日本との違い

今までそこまで大きなカルチャーショックにはあっていませんが、アーカンソーは日本とは気の遣い方が違うなと感じます。日本は助けが必要そうなときに助けて、それ以外はあまり介入しないことが親切なように感じますが、アーカンソーは、もちろんいろんな人がいますが目が合ったら hi! how are you? と、他人にも声をかけるなどわかりやすい助け合いの輪のようなものがあるように感じました。僕自身は他人に小さい声で陰口を言われることはありましたがほとんど差別を経験していません。大学に通っている生徒は基本的に知識があるので異文化への理解があるように感じます。アメリカ人でも個人的にはみんな話しますが大人数でまとまるときなどは、白人は白人と、有色人種は有色人種と一緒に過ごすような感じがあり、どんな人とつるむかで立ち位置が決まるという感じがあります。自分と仲が良い人同士が友達になってくれたらいいなと思います。また、最初はそんなに話してくれなかった子が話してくれるようになるとうれしく思いました。みんなに日本のことを好きになってもらいたいです。約3週間が過ぎましたが、毎日がものすごく楽しいです。自分の性格はアメリカにあっていると思いました。

